

[インマルサット IsatPhone Pro の国内でのご利用に関する一部制限について](#)

アイサットフォンなどインマルサット衛星携帯電話は電波天文台への影響を避けるため、2012年8月20日現在において、「緊急時のご利用」、「防災訓練用」の場合を除き、次の地域において平常時のご利用は禁止されています。

IsatPhone Pro のご利用に制限のある地域：



利用制限の対象となる市町村 (2012年8月20日現在)

都道府県名	市町村名
福島県	猪谷村
新潟県	妙高市
茨城県	鹿嶋市、潮来市、稻敷市、神栖市、行方市、鉾田市、美浦村
千葉県	銚子市、成田市、旭市、匝瑳市、香取市、神崎町、多古町、東庄町
埼玉県	秩父市、小鹿野町
栃木県	鹿沼市、日光市
東京都	奥多摩町
山梨県	甲府市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笛吹市、甲州市、中央市、市川三郷町、早川町、富士吉田市、昭和町、小菅村、丹波山村、富士吉田市、鳴沢村
群馬県	藤岡市、富岡市、安中市、上野村、神流町、下仁田町、南牧村、甘楽町、前橋市、高崎市、桐生市、沼田市、渋川市、みどり市、榛東村、吉岡町、中之条町、長野原町、嬬恋村、草津町、高山村、東吾妻町、片品村、川場村、昭和村、みなかみ町
長野県	松本市、上田市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、茅野市、塩尻市、佐久市、東御市、小海町、川上村、南牧村、南相木村、佐久穂町、輕井沢町、立科町、長和町、下諏訪町、富士見町、麻績村、辰野町、箕輪町、南箕輪村、宮田村、大庭村、長野市、岡谷市、諏訪市、大町市、平出市、北相木村、御代田町、青木村、麻績村、筑北村、白馬村、坂城町、山ノ内町、信濃町
静岡県	静岡市葵区

次の場合は、特に連絡窓口への連絡なく使用する事ができます。

■緊急時のご利用：利用制限エリア内での災害発生時等について

- (1) 災害発生時：例えば、暴風、暴雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、原発事故により通常の連絡手段が使用できない時。
動乱、テロ等により、利用制限エリア内で通常の連絡手段が使用できない時。
- (2) 上記以外の場合は、ご利用の事後に連絡窓口へのご連絡が必要です。
例：山岳遭難、火災、車両事故、航空事故等の、個別に発生した緊急時。

■防災訓練用：ご利用が可能な期間について

下記期間に行われる防災訓練用としてご利用の場合、

- 每年 9月 1日 ~ 9月 7日まで
- 每年 3月 11日 ~ 3月 17日まで

■上記緊急時のご利用項目(2)でインマルサット IsatPhone Pro をご利用された場合の連絡先

上記の利用制限エリア内でインマルサット GSPS をご利用された場合は、おおむね1週間以内に下記連絡窓口までご連絡ください。

【連絡先】

電波天文周波数小委員会(1.6GHz 帯衛星携帯窓口)

E-mail: satmobile-nro@nao.ac.jp

件名を「利用制限エリア内での衛星携帯電話の使用について」とし、
ご利用の用途・日時・場所をご連絡ください。

ご利用制限に関する Q&A

Q1. なぜ利用制限があるのですか？

A1. 衛星携帯電話は、上空約3万6千kmにある人工衛星まで電波を送信するため、通常の携帯電話と比べて強い電波を発射しています。一方、電波天文観測所では、何万光年もの遙かかなたの極めて微弱な電波を観測しています。そのため、観測データに衛星携帯電話が送出する電波が影響することが懸念されています。万が一影響があった場合、観測データが無効となったり、新たな発見として誤って扱われてしまう恐れがあるため、影響を及ぼす可能性がある地域では使用が制限されています。

Q2 「利用してはならない」とは、具体的にどのようなことをいうのですか？

A2. 衛星携帯電話は、通話をしていない場合でも、電源が入っていると自動的に人工衛星に対し電波を発射し、ネットワークとの接続を確保しようとします。そのため、利用できない状況下では、衛星携帯電話の電源を入れないようにお願ひいたします。

Q3. 「事後の連絡」が必要な場合と、必要がない場合があるのはなぜですか？

A3. 電波天文観測データに衛星携帯電話の電波が入ってしまった場合、天文学上の発見なのか、単なる混信なのかを区別することが困難です。そのため、特に個別に発生した緊急事態で使用された場合は、電波天文台へご連絡いただくことで、該当の観測データの修正や破棄を行うことができます。

しかし、規模の大きい災害では、衛星携帯電話が多く利用されることが容易に想定でき、また連絡が殺到することが予想されるため、通話は不要としています。

Q4. この利用制限の内容は、どの通信事業者でも同じですか？

A4 ご契約の通信事業者に関わらず、条件は全て同じとなります。また、ご利用の際の連絡窓口も同じです。

Q5. 事後連絡さえすれば、どんな場合でも使用できるようになりますか？

A5. 残念ながら困難です。電波天文観測データへの混信が多くなると、連続的な観測が重要な電波天文観測では、観測子の土のが意味をなさなくなってしまいます。

* * * * *

以上です。